

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果について

◇調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国や大阪府下の状況との関係において、児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、このような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇分析の方式

平成 31 年度（令和元年度）は、全国学力・学習状況調査（以下、全国調査）が悉皆（全校対象）調査であったため、全小中学校で本調査を実施した。教科に関しては、27～30 年度の 4 回の結果と本年度の全国調査、合わせて 5 回の本調査結果を経年比較も含めて分析を行った。

◇調査の概要

- 調 査 日： 平成 31 年 4 月 18 日（木）
- 調査対象： 小学校 6 年生 49 校 ／ 義務教育学校（前期課程）6 年生 2 校
中学校 3 年生 23 校 ／ 義務教育学校（後期課程）9 年生 2 校

◇調査内容

- 小 学 校： 国語・算数
- 中 学 校： 国語・数学・英語（「話すこと」調査を含む）
- 小中共通：児童生徒質問紙調査
(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)
学校質問紙調査
(指導方法に関する取り組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

◇調査結果について

本調査で得られる結果は学力の特定の一部であることや、平均正答率のみでは児童生徒の学力ならびに児童生徒の学力と関係する要因については測ることができないことを踏まえ、これまでの全国学力・学習状況調査と同様、本調査から得られたデータを下に学校・家庭・地域が学力に関する課題を共有し、さらなる連携を深め、スクラムを組み児童生徒の学力向上に取り組むことを目的として分析を行った。

◇教科の結果と分析

- 教科と教科の意識調査の結果について

各教科及び教科の意識調査の結果とその分析である。

- ・ 小学校国語 ・ 小学校算数 ・ 小学校教科の意識調査
- ・ 中学校国語 ・ 中学校数学 ・ 中学校英語 ・ 中学校教科の意識調査

◇児童生徒質問紙調査の結果と分析

- 生活習慣や学習意識に対する調査について

児童生徒質問紙調査の回答のうち、特徴的な項目を挙げ、分析した。

- ・ 規範意識、自己有用感に関すること
- ・ 家庭学習習慣に関すること
- ・ 地域や社会に関わる活動に関すること

◇全国学力・学習状況調査 関連ホームページ

- ★ 国立教育政策研究所ホームページ

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

- ★ 大阪府ホームページ

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/zennkoku/index.html>

教科の結果と分析

小学校 **国語**

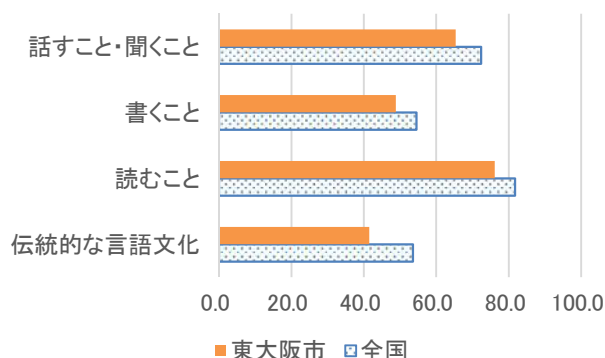
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文や文章の中で正しく使うことに課題
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題

【平均正答率】 55.6 %

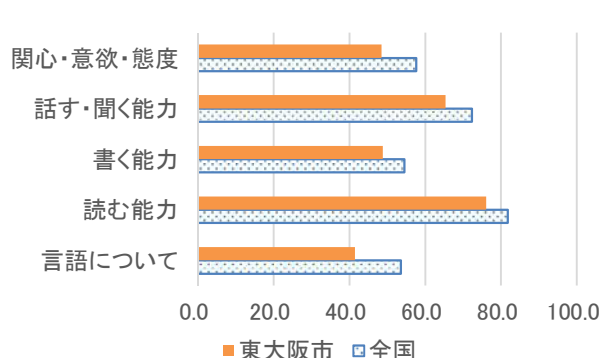
【無 答 率】 8.5 %

学習指導要領の領域別・評価の観点別・問題形式別の平均正答率

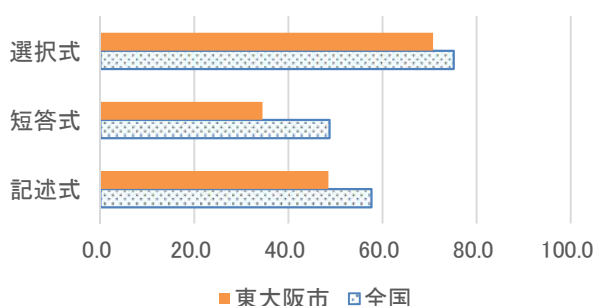
学習指導要領の領域等



評価の観点

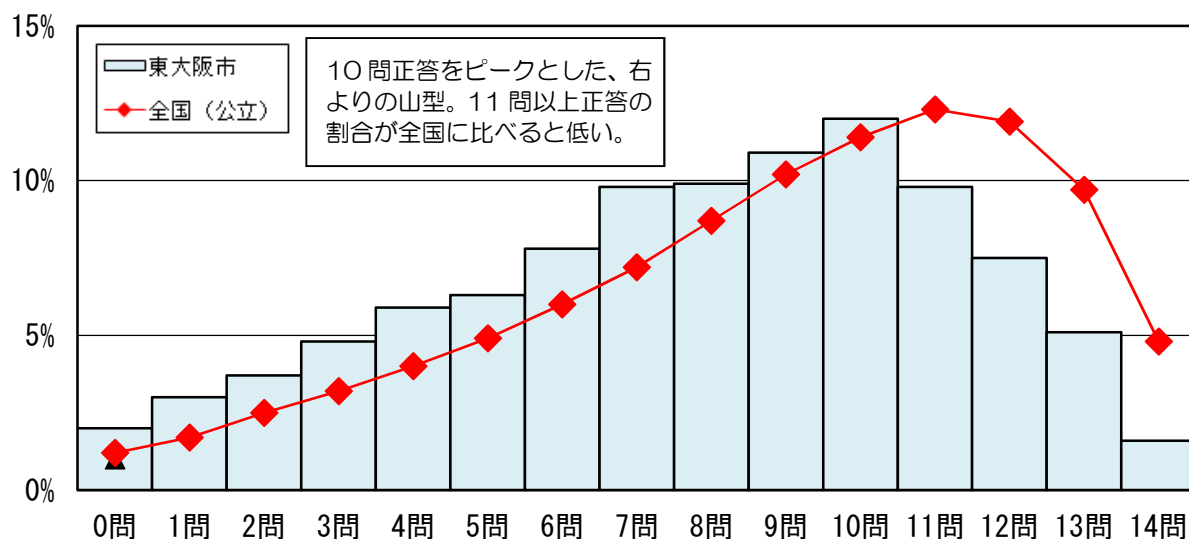


問題形式

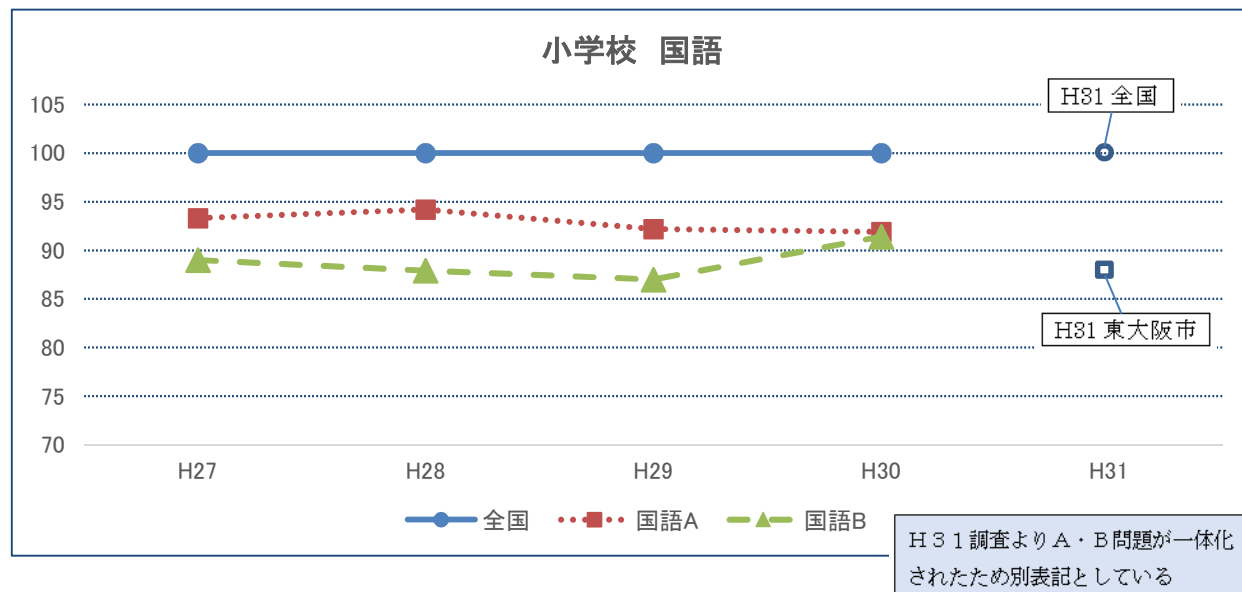


- 学習指導要領の領域等では「伝統的な言語文化」の項目において、評価の観点では「言語について」の項目において、全国の数と比較して課題が見られる。

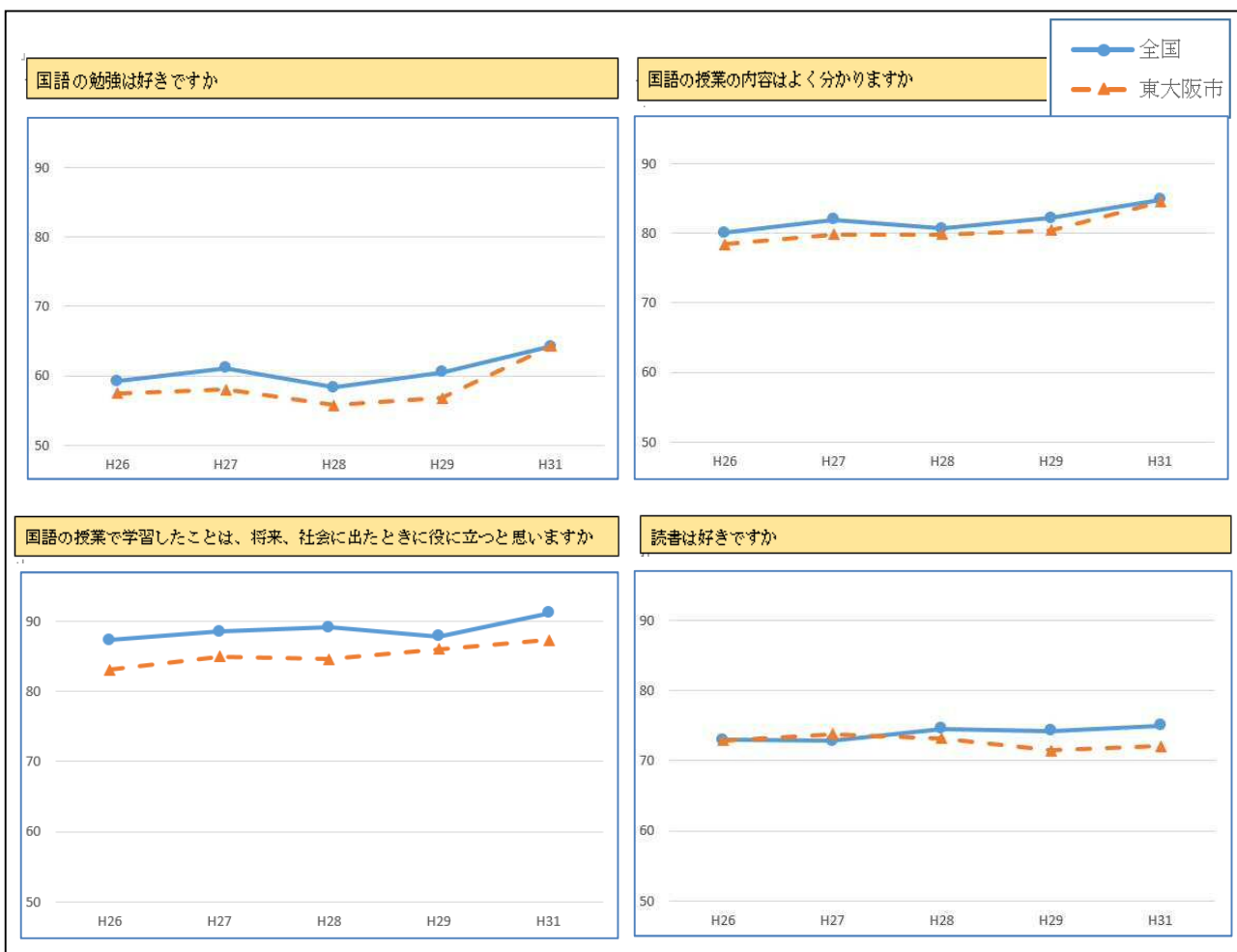
正答数分布



直近 5 年間の推移（全国平均正答率を 100 とした場合の本市平均正答率の割合）



児童質問紙調査【教科に関する項目】より（肯定的な回答の割合）



H30 の質問紙調査では上記の項目は設けられていなかったため省略している

調査問題でみられた特徴的な傾向と対策

《全国との正答率の開き大きい問題》 1 四（１）

【出題の趣旨】

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

【正答】

ア 対象

イ 限（らず）

ウ 関心

【正答率】

ア	東大阪市	32.7%
	全国（公立）	41.9%
イ	東大阪市	54.8%
	全国（公立）	69.4%
ウ	東大阪市	17.5%
	全国（公立）	35.6%

※解答は、解答用紙に書きましょう。

ウ

イ

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に イ かざらず多くの友達に伝え、公衆電話について ウ かんしんをもってもらいたいと思います。

ア

そこで、地いきの人三十人を調査の ア たいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

(1) 高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気がつき、書き直すことにしました。【報告する文章】の ——— 部 ア から ウ のひらがなを、漢字でいいねいに書きましょう。

四 高橋さんは、【報告する文章】を書き終え、読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

【学習指導のポイント】

漢字の学習指導に当たっては、日常的に文や文章の中で適切に使うことができるようにすることが大切である。そのためには、新出漢字を読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、本問のように自分が書いた文章を見直す中で、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにすることが大切である。

特に、同音異義語の学習指導に当たっては、同じ音からいくつかの熟語を思い浮かべ、それぞれの意味を考えて文脈にふさわしい熟語を選んで書くことができるようにすることが大切である。

《全国との正答率の開きが大きく、無答率が高かった問題》 3 三

3

岸さんは、町の広報誌に取り上げられていた豊城人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、「広報誌の記事」、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【広報誌の記事】

店主の太谷達さんは、十八歳のころに地元で畳店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた畳作りの伝統の技を五十年間守り続けている。

部屋に床にすき間も段差もなくびたりとおさまる畳を作らせたから、大谷さんの右に出る者がない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかに段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整は一切せずにびたりとおさめることができる。

「私にとって、量はとても魅力的なものです。だからこそ、五十年間も職人を続けることができたのです」と大谷さんは話す。

「直接聞いてみたいこと」

・大谷さんはどのような
思いや考えをもって、
たたみ職人を五十年間
続けてきたのだろうか。

・大谷さんが話している
たたみのみりよくとは
何だろうか。

【インタビューの様子】

大谷さんが達人として紹介されている、町の広報誌の記事を読みました。今日は
大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きたいと思います。よろしくお願
いします。

大谷さん
こちらこそ、よろしくお願いします。

では、早速ですが、広報紙で大谷さんは「私にとって、妻はともみりよくてきなものです」とおっしゃっていましたよね。どのようなところにみりよくがあると
思われますか。

大谷さん
私の店の量について言えば、全て一点物だということです。私は、機械を使わずに、細部までくふうして一枚ずつ手作業で仕上げています。ですから、完成した量は同じように見えても、それぞれに個性があるのです。そこが私にとっての一番のやりよくですね。

岸さん

そうなのですね。それはつまり、

$\mathcal{P}$

そうです。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは職人としての腕の見せどころですからね。

職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか

大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません

では、どのようにして腕をみがいたのですか。

大谷さん 量を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました

大谷さんは、親方の姿をよく見て技術や接し方を身につけたのですね

大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度でもくり返すのです。私はとても不器用なので大変さはありましたが、何とか親方のようになりたいたいと思いながら、修業をしていました。

岸さん　　そのような思いをもっていたのですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん　すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしてきたことや心構えはありますか。

大谷さん　そうですね。五十年も職人をして、いまだに完ぺきだと思える仕上がりは

ものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん
お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に

イ

またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

三 岸さんは、インタビュアの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。「インタビュアの様子」の **イ** に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〔条件〕

○『インタビューの様子』の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。

○ インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。

○書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

[illegible]

【出題の趣旨】

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

【正答例】

（特に、）五十年も職人を続けていても、自分が一人前になったと思わずにもっとよいものを作ろうというところがすごいと思いました。（60 字）

【正答率】 東大阪市 58.5% 全国（公立） 68.2%

【無答率】 東大阪市 19.6% 全国（公立） 14.2%

【学習指導のポイント】

自分の考えをまとめるには、相手からどのような情報を聞き出し、その情報をどのように活用するのかのように、インタビューの目的を明確にもって聞くことが重要である。また、話し言葉には、発せられた途端に消えていくという特質や、聞き手や場面の状況の影響を強く受けやすいという特質がある。こうした特質を踏まえた上で、情報を関係付けながら聞くことも重要である。

そのための学習指導に当たっては、児童がインタビューに必然性を感じることができる話題の設定や、インタビューの成果を生かす場の設定をすることが必要である。また、インタビューの前に、自分の考えをもったり、自分がもっている情報と知りたい情報とを整理したりする活動も有効である。さらに、インタビューの成果を基に児童自身が身に付いたことを自覚できるような振り返りを行うことも大切である。

教科の結果と分析

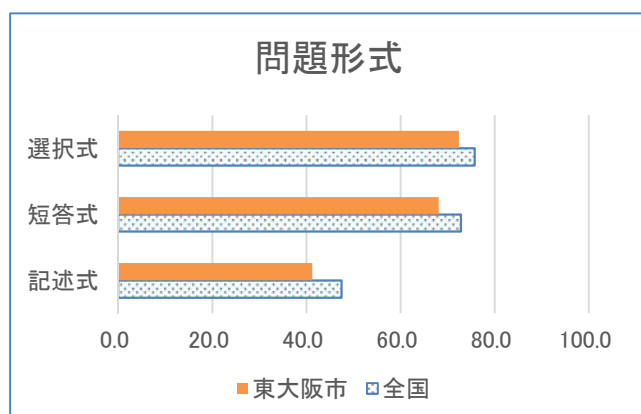
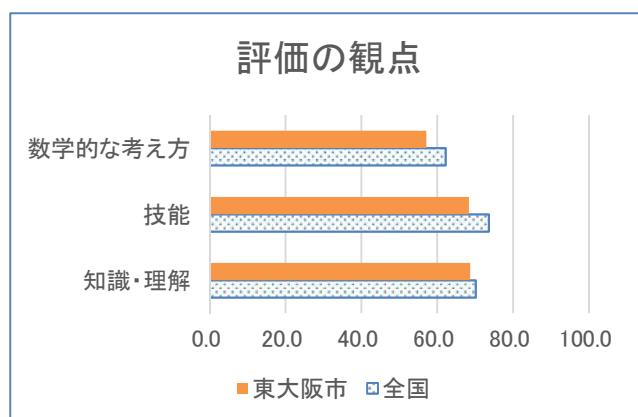
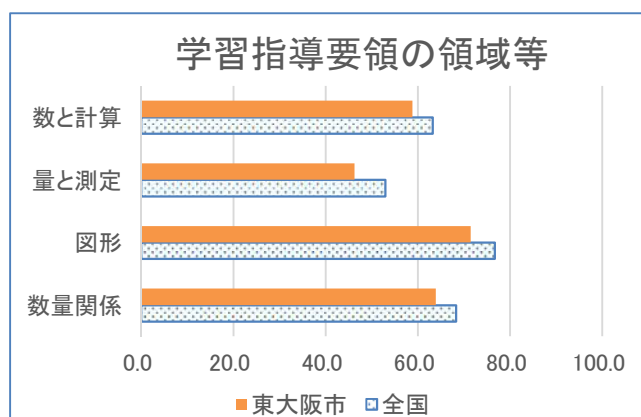
小学校 算数

○複数の資料から特徴や傾向を読み取り、判断の理由を言葉や数を用いて記述することに課題
○示された計算の仕方を解釈し、式の性質について言葉を用いて記述することに課題

【平均正答率】 61.9 %

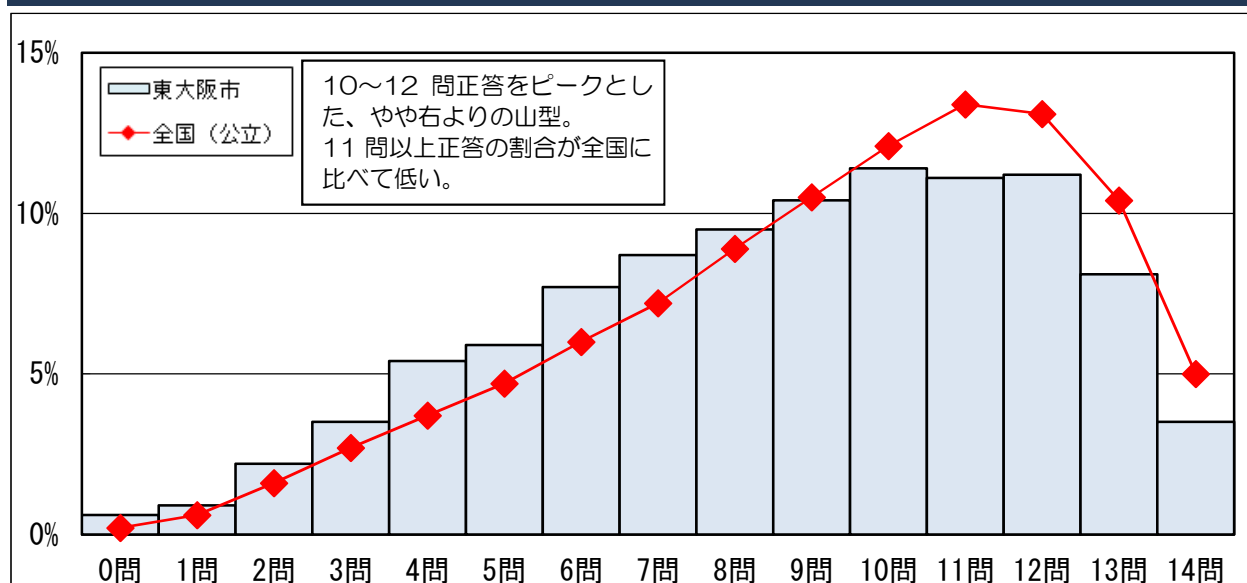
【無 答 率】 4.3 %

学習指導要領の領域別・評価の観点別・問題形式別の平均正答率

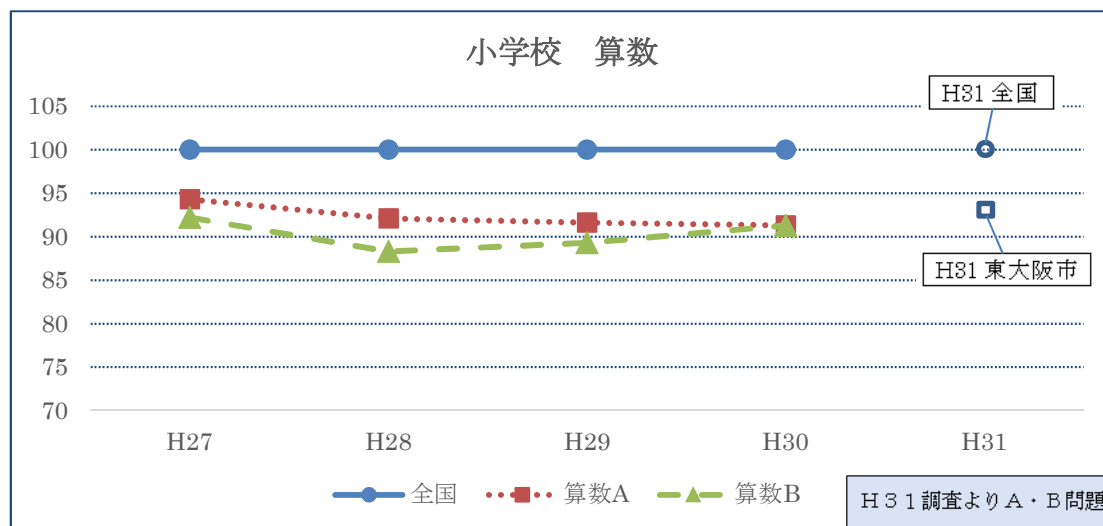


- 学習指導要領の領域等では、「量と測定」の項目において、他の領域と比べ、課題が見られる。
- 評価の観点では、「知識・理解」の項目において全国とほぼ同じ値となっている。

正答数分布

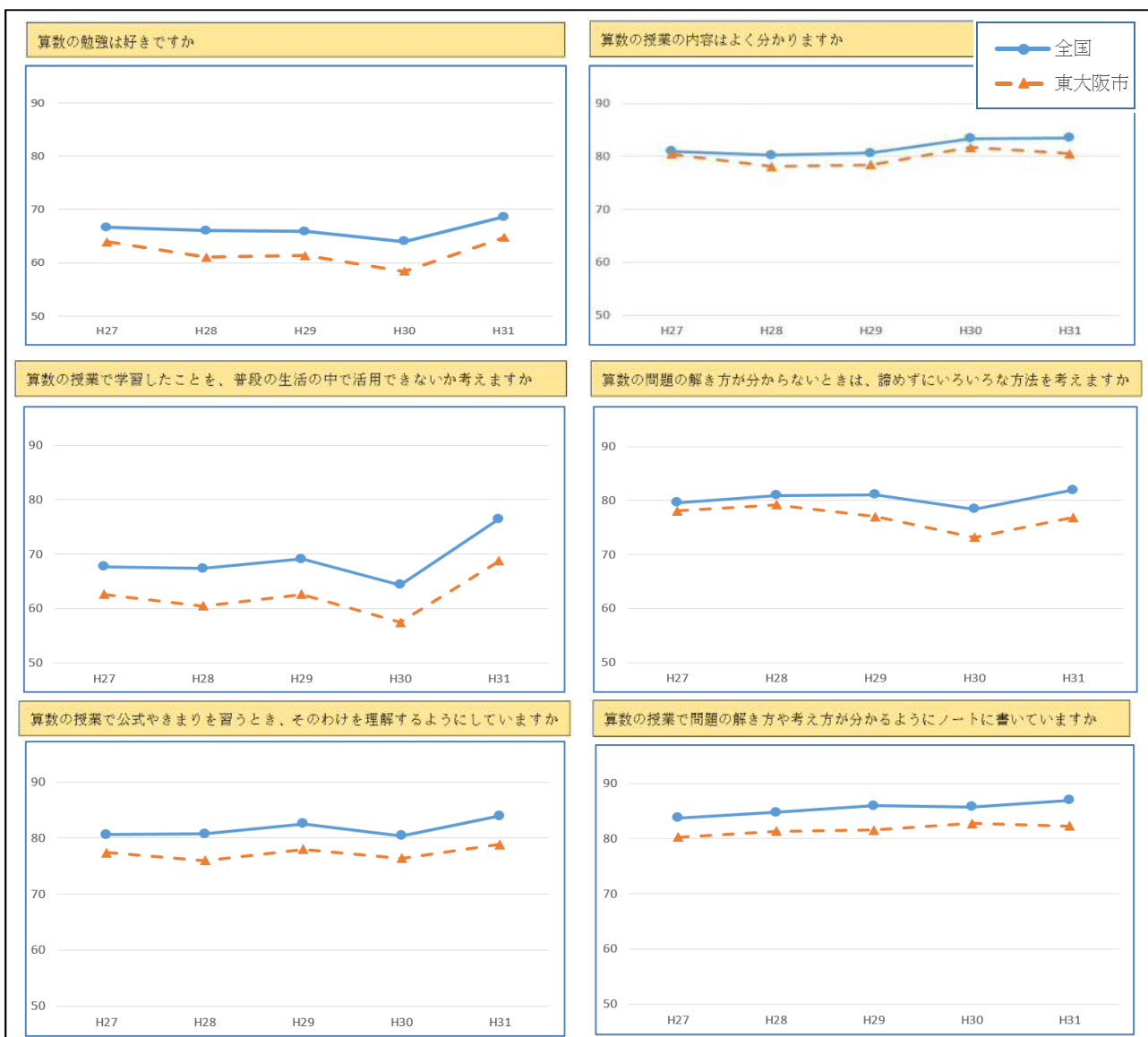


直近 5 年間の推移（全国平均正答率を 100 とした場合の本市平均正答率の割合）



H31 調査より A・B 問題が一体化されたため別表記としている

児童質問紙調査【教科に関する項目】より（肯定的な回答の割合）

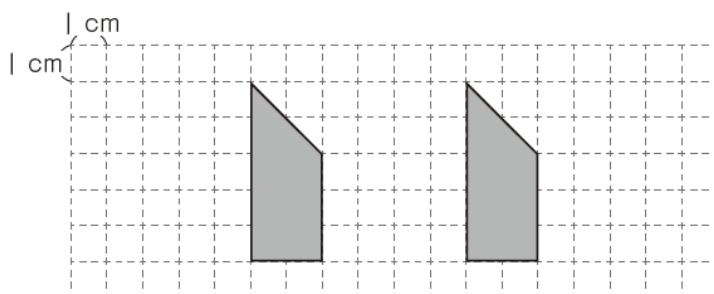


調査問題でみられた特徴的な傾向と対策

《全国との正答率の開きが大きかった問題》 1 (2)、2 (3)

1 (2)

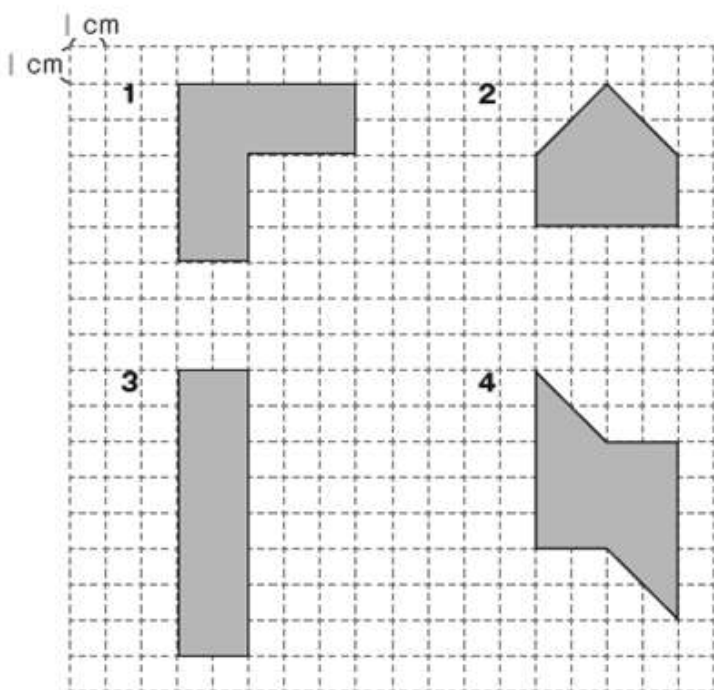
(2) ちひろさんは、次のように、2つの合同な台形をつくりました。



上の2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、^{うらがえ}裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな形をつくります。

どのような形をつくることができますか。

下の 1 から 4 までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。



【出題の趣旨】

図形の性質や構成要素に着目し、図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、ほかの図形を構成することができるかをみる。

【正答】

1・3・4

【正答率】

東大阪市	51.2%
全国（公立）	60.3%

【学習指導のポイント】

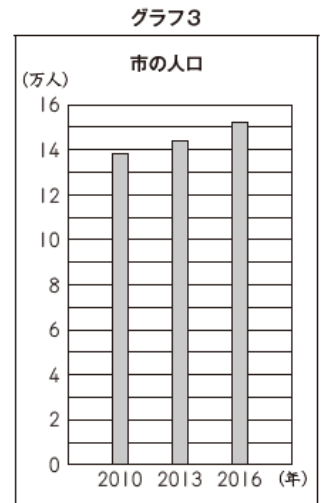
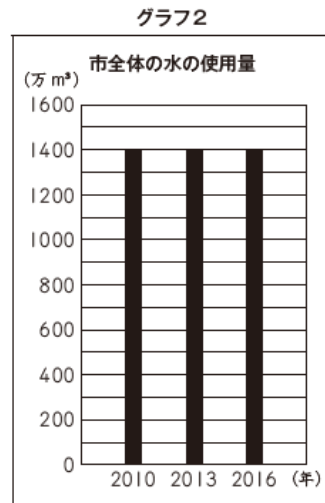
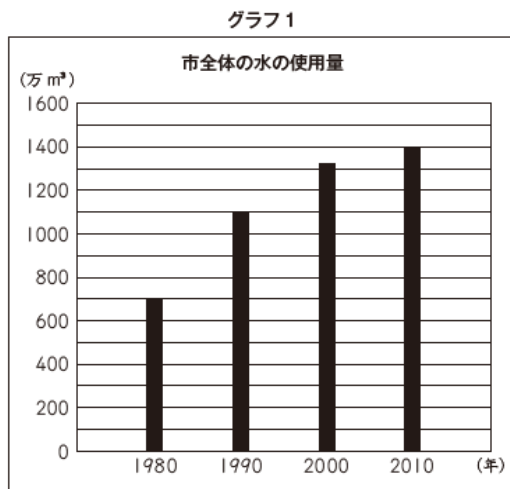
色板などの具体物を操作しながら図形を構成したり分解したりして、図形についての見方や感覚を豊かにすることが重要である。

指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、二つの合同な台形を組み合わせでできる図形を判断する活動が考えられる。その際、2枚の合同な台形の紙のうち1枚を、示された四つの図形に当てはめるなどして、図形の中に、二つの合同な台形に分けることができる線を見いだすことができるようにすることが大切である。

2

かいとさんたちは、水を大切に使用しているのかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは、**グラフ1**を見つけました。

(3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思います、**グラフ2**と**グラフ3**を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



わらい
私たちは、水を大切に使用しているといえるのでしょうか。



市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているのはわかりません。



グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。

【出題の趣旨】

二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

【正答例】

1人あたりの水の使用量は、市全体の水の使用量÷市の人口で求めることができます。市全体の水の使用量は変わっていませんが、市の人口は増えています。だから、1人あたりの水の使用量は、減っています。

【正答率】

東大阪市	43.9%
全国（公立）	52.1%

あやのさんが言うように、**グラフ2**と**グラフ3**を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだだけを、**グラフ2**と**グラフ3**からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

【学習指導のポイント】

目的に応じて、必要な資料を収集し、複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断することができない事柄について、判断することができるようすることが重要である。

指導に当たっては、例えば、本設問を用いて一人当たりの水の資料量について考察し判断する活動をさせる際、市全体の水の使用量と市の人口について、それぞれの資料の特徴や傾向を関連付けて考察する必要があることに気付くことができるようにすることが大切である。

《全国との正答率の開きが大きく、無答率が高かった問題》 3 (2)

3

ともやさんは、 $421 - 298$ や $600 - 201$ のようなくり下がりのあるひき算について、次のように計算しやすい式にして考えました。

【ともやさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 421 - 298 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 423 - 300 = 123 \end{array} \quad \begin{array}{c} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $421 - 298$ の答えの $\square$ は、123 です。

$$\begin{array}{r} 600 - 201 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 599 - 200 = 399 \end{array} \quad \begin{array}{c} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $600 - 201$ の答えの $\square$ は、399 です。



【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないですね。

ゆいなさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまとめました。

【ゆいなさんがまとめたこと】

ひき算では、
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
差は変わりません。
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 400 \div 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array} \quad \begin{array}{c} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの $\square$ は、16 です。

$$\begin{array}{r} 90 \div 18 = \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array} \quad \begin{array}{c} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの $\square$ は、5 です。

- (2) ひき算について書かれた【ゆいなさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の $\square$ の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

【正答率】 東大阪市 25.7%

全国（公立） 31.1%

【無答率】 東大阪市 18.1%

全国（公立） 10.8%

【出題の趣旨】

示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を、言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

【正答例】

わられる数とわる数に同じ数をかけても、
わられる数とわる数を同じ数でわっても、
商は変わりません。

【学習指導のポイント】

適用する数の範囲を広げていながら統合的に考え、計算に関して成り立つ性質を見だし、表現することができるようにすることが重要である。

指導に当たっては、例えば本設問を用いて活動をさせる際、被除数と除数や、商について、適用する数の範囲を広げていながら、見いだしたことがほかの数値の場合でも成り立つかどうかを確かめることができるようにすることが大切である。

教科の結果と分析

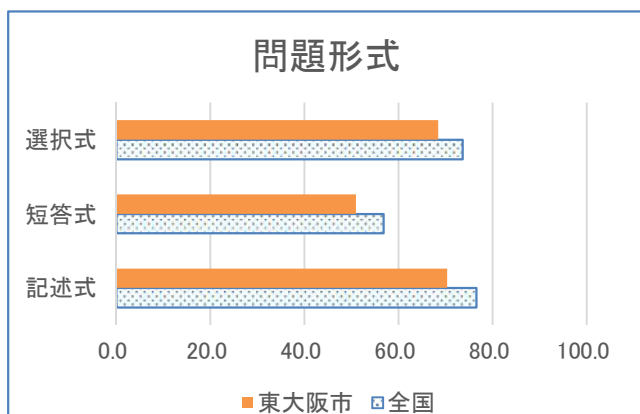
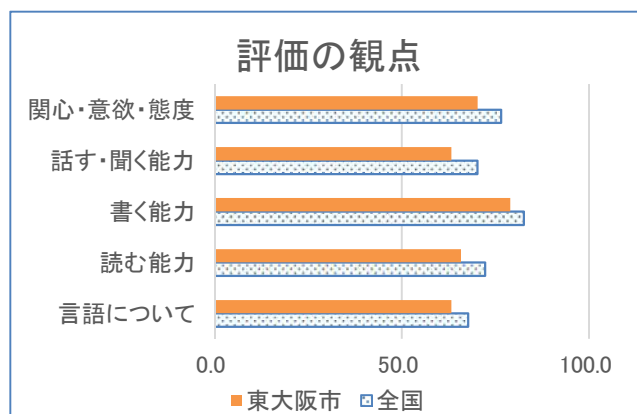
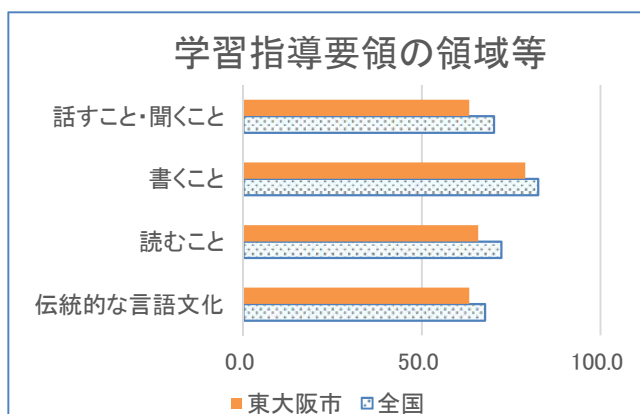
中学校 **国語**

○文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題
○話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことに課題

【平均正答率】 67.2 %

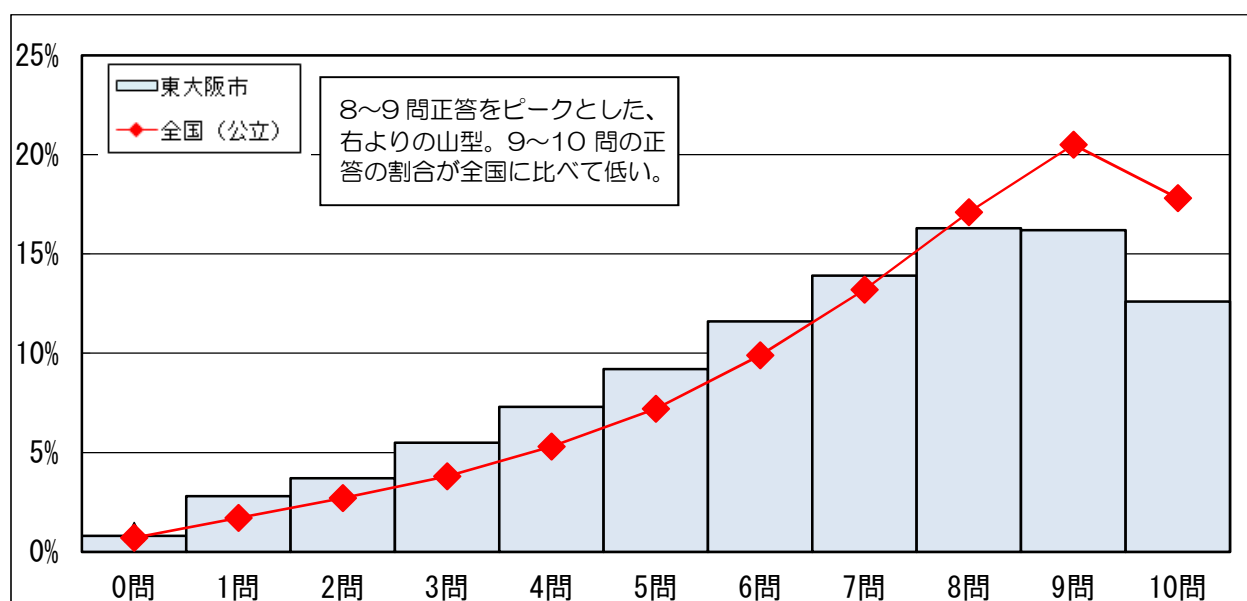
【無 答 率】 3.6 %

学習指導要領の領域別・評価の観点別・問題形式別の平均正答率

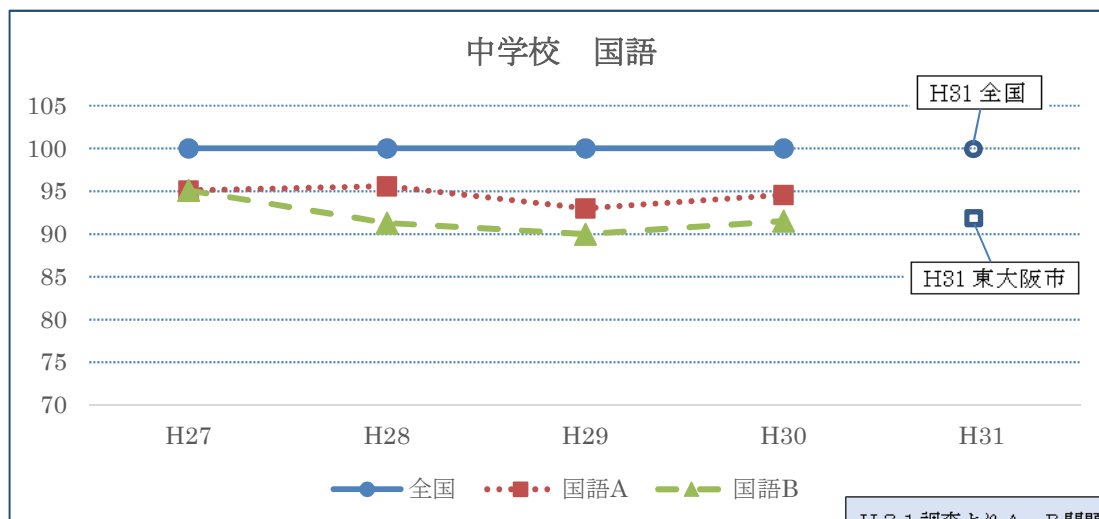


- 学習指導要領の領域等や評価の観点では、「書くこと・書く能力」において、これまでと比較すると改善が見られる。
- 「話すこと・聞くこと（能力）」「読むこと（能力）」においては、全国の値と比較すると課題が見られる。

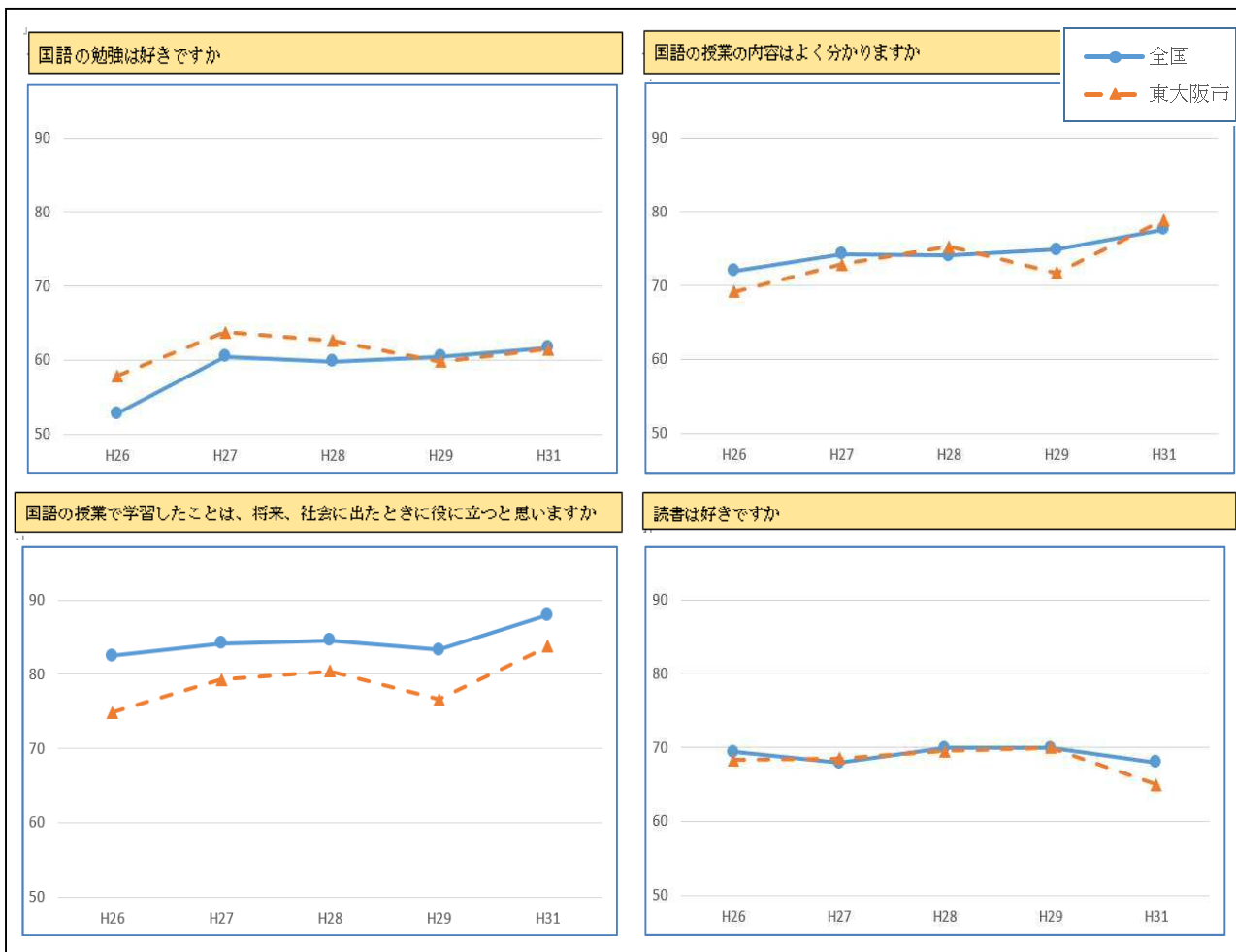
正答数分布



直近 5 年間の推移（全国平均正答率を 100 とした場合の本市平均正答率の割合）



生徒質問紙調査【教科に関する項目】より（肯定的な回答の割合）



H30 の質問紙調査では上記の項目は設けられていなかったため省略している

調査問題でみられた特徴的な傾向と対策

《全国との正答率の開きが大きかった問題》 1 (2)

7 文化 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 全国中学生新聞

声の広場

今年こそ優勝!!
残せぬ感動
残すな後悔

(中2・野球大好き)

春の風が吹く
春の空が青い
春の日はあたたかい
春の足音がする

(中3・こねこ)

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるギリギリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一 泉 あきら

「勇者より」「ギリギリギリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ
中一 内山 誠一

玄間の鏡の前でもう一度前髪整え顔ポタン笑顔と
中二 森川 りか

春風がいつもの道を駆け抜ける音の足取り自然と軽く
中三 松田 花子

■投稿先
〒100-8543 東京都千代田区中央3
全国中学生新聞「声の広場」係
FAX 000-123-xxxx
メール zenkoku@xxx.xxx

▼イラストははがき大。「みんなの短歌」は1通に2首まで。
▼氏名、学年、住所、電話番号を明記。
イラストはペンネーム可。

全国中学生新聞 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 6

海外に広がる弁当の魅力

（シリーズ）再発見！日本の文化

カスクルト

アメリカのボックスランチやフランスのカスクルトなど、日本の弁当のようには海外に持ち出して食べることはできない。それは、昔から各国にあり、それぞれの国で親しまれている。そのような中、日本の弁当が海外の様々なメディアで取り上げられ、国際的な弁当のコンクールが開催されたりしています。私たちの身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外で話題になっているのです。

弁当の一番の魅力は、小さな箱の中にいろいろな料理が詰められていることです。主食、主菜、副菜、時には果物まできれいに収まっています。そのため、栄養バランスのよい食事として、健康志向の高まりとともに、海外でも注目されるようになったのです。マトの赤色や卵焼きの黄色などをうまく並べて、鮮やかになった弁当を見て、まるで宝石箱のようだと、海外の方も「うーん、また、様々なデザインの弁当箱を好みに応じて選べることも、弁当の魅力の一つです。例えば、フランス

のデパートの食料売り場でも、おしやれでカスクルトな弁当箱がたくさん並べられています。

さらに、料理をいしく食べるための優れた機能をもった弁当箱も増えています。例えば、日本に古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱は、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目や色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。

弁当は、誰かのために作ったり、皆で持ち寄ったり和気あふい食べたりすることもあります。こうした、人とのつながりをもつことができるのも、弁当の魅力です。最近では、日本だけでなく海外でも、インターネットを利用して、弁当の作り方や詰め方について交流する人が増えています。住んでいる場所も年齢も異なる人たちが、情報を交換し、仲間を作り、楽しんでいくのです。

このように、様々な魅力をもった弁当は、世界に誇ることができる日本の文化の一つなのです。

今回は「漫画」を取り上げます。

曲げわっぱの弁当

【出題の趣旨】
文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるかどうかをみる。

【正答】 2・5

【正答率】
東大阪市 53.6%
全国（公立） 61.5%

【学習指導のポイント】
説明、解説、論説などの説明的な文章を読む際には、文章の構成や展開を捉え、内容を的確に理解するように指導することが大切である。その際、生徒自身が目的意識をもって文章を読み、必要な情報を整理することができるように指導を工夫することが重要である。

例えば、目的をもって文章を読み、必要な情報を過不足なく取り出すことができているかということに加え、どのようにすればその情報にたどり着くことができるのかについて検討するなどの学習活動が考えられる。その際、小学校での学習を踏まえ、目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて読むように指導することも大切である。

二 「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを、次の1から5までの中から全て選びなさい。

- 1 インターネットを利用して、様々な国の弁当を取り寄せることができる。
- 2 主食、主菜、副菜などが取まっており、栄養バランスのよい食事をとることができる。
- 3 ボックスランチやカスクルトなどは異なり、戸外に持ち出して食べることができる。
- 4 いろいろな料理が詰められているので、食べ物の風味を保つことができる。
- 5 様々なデザインの弁当箱があり、自分の好みのものを選ぶことができる。

《全国との正答率の開きが大きく、無答率が高かった問題》 2 (3)

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらに感じたり、段差に気付かずには驚いたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらっしゃいます。ですから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください。」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

倉田さん 西野さん

ネットにそのようなニュースが出ているのですね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

山下さん

そうですね。段差への注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合えないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

山下さんも気になっていたのですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

倉田さん 西野さん

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それで、今日の話し合いはここまでですね。

山下さん

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりだと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていないことがあります。

A

まず、次は、「話し合いの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。（場面①から場面③は、連続した場面です）

「話し合いの一部」

第 中学校の生徒会役員の山下さんたちは、「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題で話し合っています。

（議題）

地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために

- 一 生徒会が地域で行っていることについての展示
- ・ 高齢者向けの施設での交流会の様子
- ・ 地域の清掃活動の様子

二 展示や発表を見に来てくださる方への配慮

「生徒会が地域で行っていることについての展示」は、この二つにします。次は、「展示や発表を見に来てくださる方への配慮」について考えましょう。

【出題の趣旨】

話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

【正答例】

校内にある「土足禁止」という掲示物の表現
をどのように直すのかについてです。私は、
文化祭に来てくださる方に対しては、「ここ
で靴を脱いでお上がりください。」のように
直すと思います。皆さんはどう思い
ますか。

【正答率】	東大阪市	51.5%
	全国（公立）	60.4%
【無答率】	東大阪市	12.6%
	全国（公立）	8.9%

--	--	--	--	--	--

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていらないこと」とは何かを明確にして書くこと

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていらないこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

三 場面②のAで山下さんは「どうするか決まっていらないこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたならどのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

どのような考えを述べますか。 次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【学習指導のポイント】

話し合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加するように指導することが大切である。その際、必要に応じて話し合いの話題について確認したり、話し合いの経過を捉えたりすることができるように指導することも重要である。

例えば、小学校での学習を踏まえ、司会の進め方や話し合いの記録の仕方などを確認した上で、実際に記録を取りながら話し合いを行うなどの学習活動が考えられる。その際、話し合いの途中で、それぞれの発言の仕方について留意すべき点を確認したり、めざしている到達点に向けて取り上げる話題をどのように絞り込めばよいかについて考えたりするなど、話し合いの仕方を見直ししながら進めるように指導することも効果的である。

教科の結果と分析

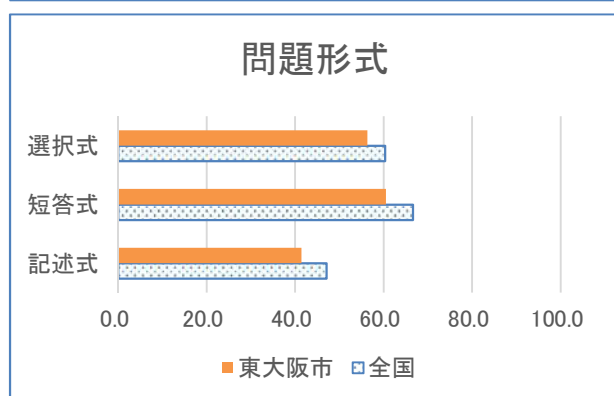
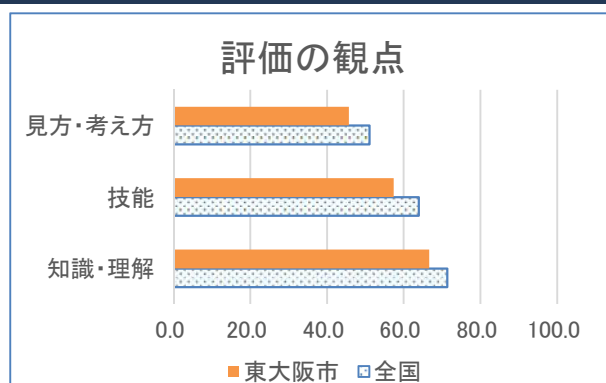
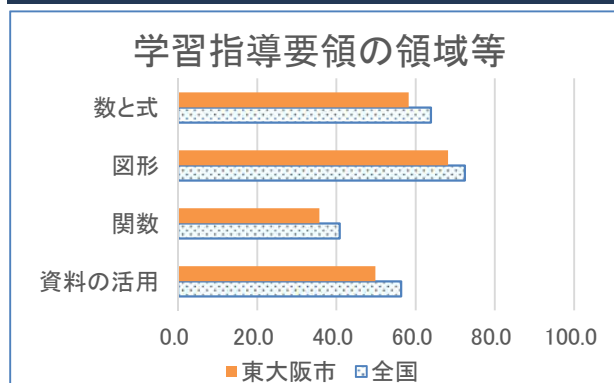
中学校 **数学**

○反比例の表から x と y の関係を式で表したり、事象に即して解釈したことを表現することに課題
○代表値の必然性と意味を理解し、代表値を求めることに課題

【平均正答率】 54.4 %

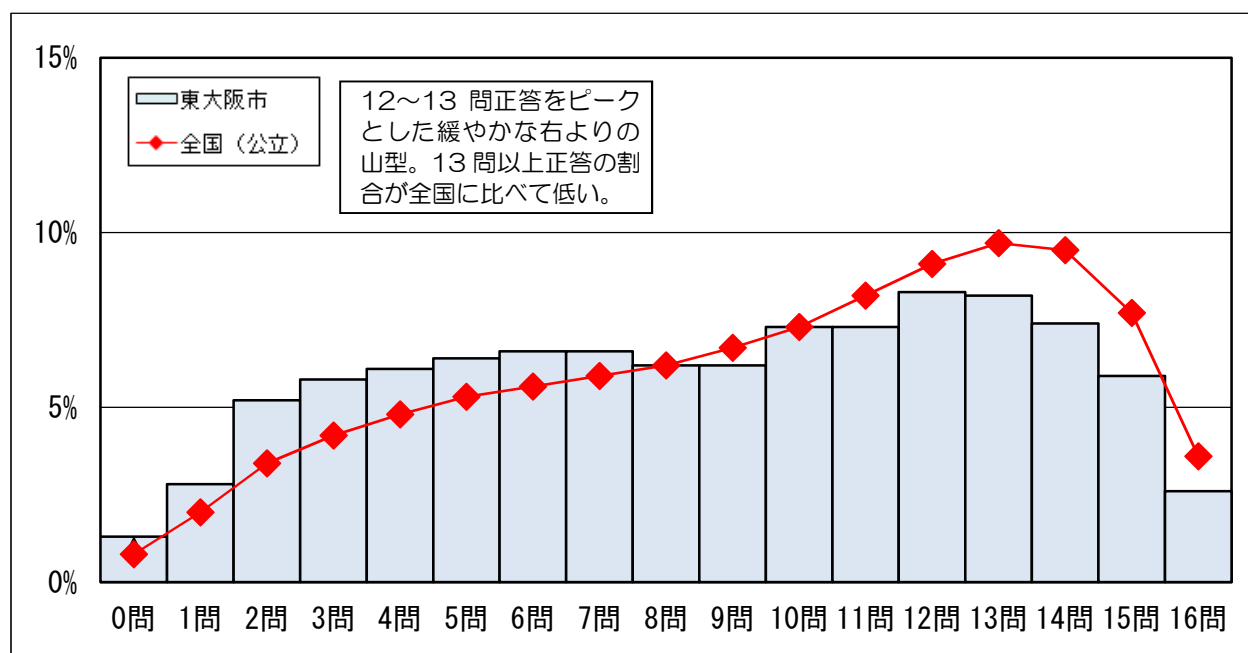
【無 答 率】 9.8 %

学習指導要領の領域別・評価の観点別・問題形式別の平均正答率

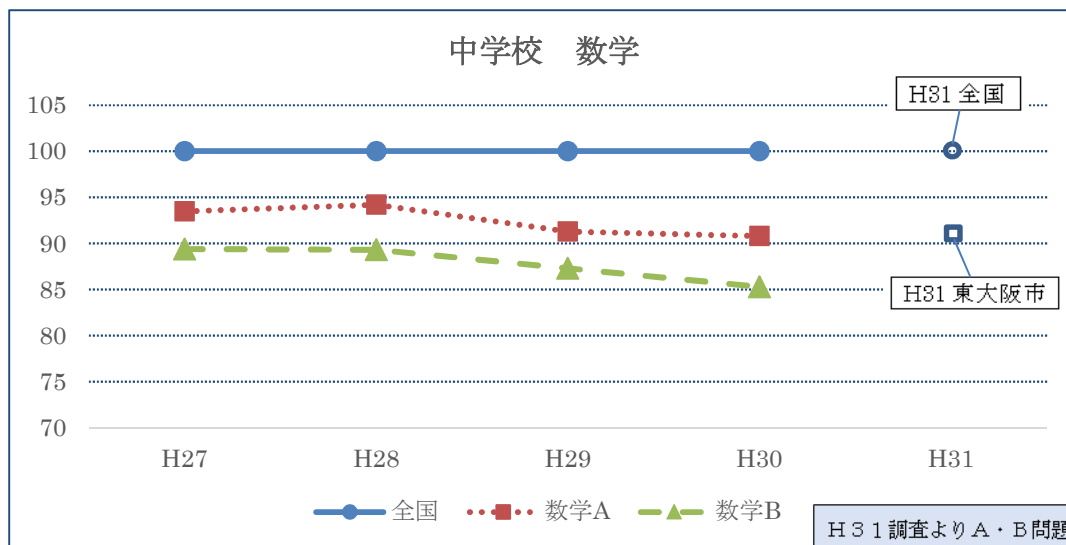


- 学習指導要領の領域等では「関数」の項目において、他の領域と比べ、課題が見られる。
- 評価の観点では「知識・理解」の項目においては、全国の値にやや近い値となっている。

正答数分布



直近 5 年間の推移（全国平均正答率を 100 とした場合の本市平均正答率の割合）



H31 調査より A・B 問題が一体化されたため別表記としている

生徒質問紙調査【教科に関する項目】より（肯定的な回答の割合）



調査問題でみられた特徴的な傾向と対策

《全国との正答率の開き大きい問題》 4、8（1）

- 4 下の表は、 y が x に反比例する関係を表したものです。 y を x の式で表しなさい。

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	2	3	6		-6	-3	-2	...

【出題の趣旨】

関数を用いて事象を捉え考察する場面において必要となることができかどうかをみる。

【正答】

$$\frac{6}{x} \quad (-6 \div x \text{ 等でも可})$$

【正答率】 東大阪市 39.5%
全国（公立） 48.9%

【学習指導のポイント】

表、式を関連付ける活動を取り入れ、反比例における比例定数や対応の特徴を捉え、 x と y の関係を式で表すことができるように指導することが大切である。

- 8 図書委員会では、生徒の読書活動の状況を調べ、図書だよりにまとめようと考えています。そこで、図書委員の航平さんと桃子さんは、全校生徒 270 人を対象に、最近 1 か月間に読んだ本の冊数と、1 日あたりの読書時間が何分であるかを回答するアンケートを実施しました。

アンケートのお願い	
・最近 1 か月間で読んだ本は何冊ですか。	() 冊
・1 日あたりの読書時間は何分ですか。	() 分

- (1) 二人は、実施したアンケートをもとに、最近 1 か月間に読んだ本の冊数について、下のような表にまとめました。下の表において、読んだ本の冊数の最頻値を求めなさい。

最近 1 か月間に読んだ本の冊数												
読んだ本の冊数(冊)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
人数(人)	13	114	74	30	11	7	4	4	3	4	6	270

【出題の趣旨】

資料を整理した表から最頻値を読み取ることができるかどうかをみる。

【正答】 1

【正答率】 東大阪市 47.8%
全国（公立） 57.9%

【学習指導のポイント】

目的に応じてデータを収集して整理し、資料の傾向を読み取る活動を取り入れ、資料の代表値を求めることができるように指導することが大切である。

《全国との正答率の開きが大きく、無答率が高かった問題》 9（2）

- 9 拓斗さんと若菜さんは、連続する3つの奇数の和がどんな数になるかを調べています。

$$\begin{array}{ll} 1, 3, 5 \text{ のとき} & 1 + 3 + 5 = 9 = 3 \times 3 \\ 5, 7, 9 \text{ のとき} & 5 + 7 + 9 = 21 = 3 \times 7 \\ 13, 15, 17 \text{ のとき} & 13 + 15 + 17 = 45 = 3 \times 15 \end{array}$$

拓斗さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想 1

連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍になる。

上の予想 1 がいつでも成り立つことは、次のように説明できます。

説明 1

n を整数とすると、連続する3つの奇数は、 $2n+1$, $2n+3$, $2n+5$ と表される。
それらの和は、

$$(2n+1) + (2n+3) + (2n+5)$$

$$= 2n+1 + 2n+3 + 2n+5$$

$$= 6n+9$$

$$= 3(2n+3)$$
 $2n+3$ は中央の奇数だから、 $3(2n+3)$ は中央の奇数の3倍である。
したがって、連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍である。

- (2) 二人は、連続する4つの奇数や5つの奇数の和について考えることにしました。若菜さんは、連続する5つの奇数には中央の奇数があることから、中央の奇数に着目して連続する5つの奇数の和について調べました。

$$\begin{array}{ll} 1, 3, 5, 7, 9 \text{ のとき} & 1 + 3 + 5 + 7 + 9 = 25 = 5 \times 5 \\ 3, 5, 7, 9, 11 \text{ のとき} & 3 + 5 + 7 + 9 + 11 = 35 = 5 \times 7 \end{array}$$

若菜さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想 2

連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の5倍になる。

上の予想 2 がいつでも成り立つことを説明します。下の説明 2 を完成しなさい。

説明 2

n を整数とすると、連続する5つの奇数は、 $2n+1$, $2n+3$, $2n+5$, $2n+7$, $2n+9$ と表される。
それらの和は、

$$(2n+1) + (2n+3) + (2n+5) + (2n+7) + (2n+9)$$

$$=$$

【出題の趣旨】

目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。

【正答例】

$5(2n+5)$ $2n+5$ は中央の奇数だから、 $5(2n+5)$ は中央の奇数の5倍である。したがって、連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の5倍である。

【正答率】

東大阪市	53.8%
全国（公立）	59.7%

【無答率】

東大阪市	24.8%
全国（公立）	17.8%

【学習指導のポイント】

事柄が一般的に成り立つ理由を、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにして説明できるように指導することが必要である。

本設問を使って授業を行う際には、説明すべき事柄である「連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の5倍になる。」ということを説明するために、連続する5つの奇数の和を表した式を、 $5 \times (\text{中央の奇数})$ の形にすればよいという見通しをもって、変形する場面を設定することが大切である。その上で、 $5(2n+5)$ が5の倍数であることを示すためには、 $2n+5$ が整数であることを根拠として示す必要があることを理解し、「 $2n+5$ が整数だから、 $5(2n+5)$ は5の倍数である。」と表現するなどして、説明を洗練させていく活動を取り入れることが考えられる。

教科の結果と分析

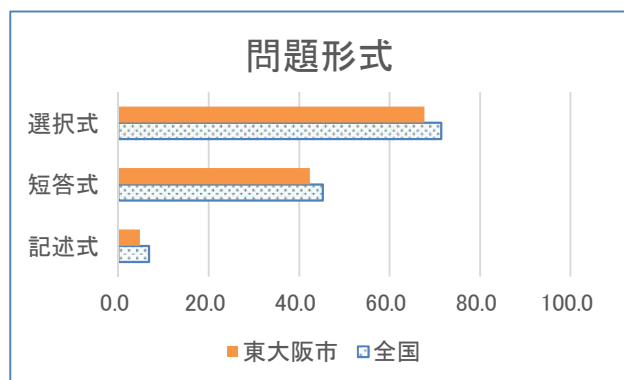
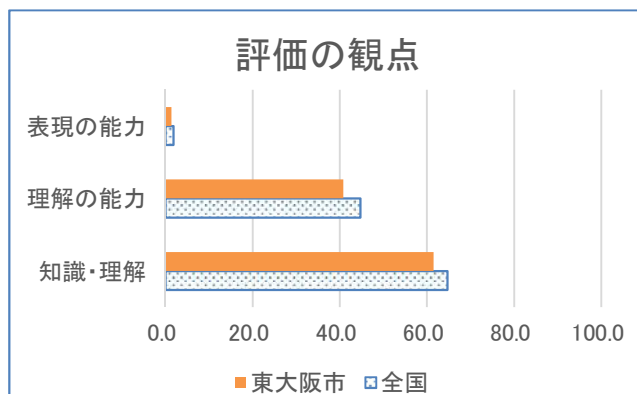
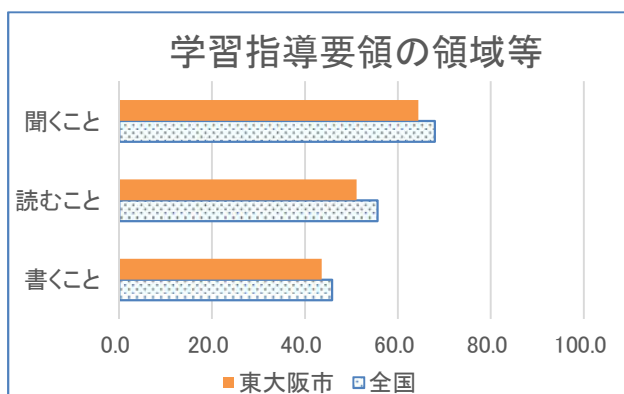
中学校 英語

○まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することに課題
○文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことに課題

【平均正答率】 52.7 %

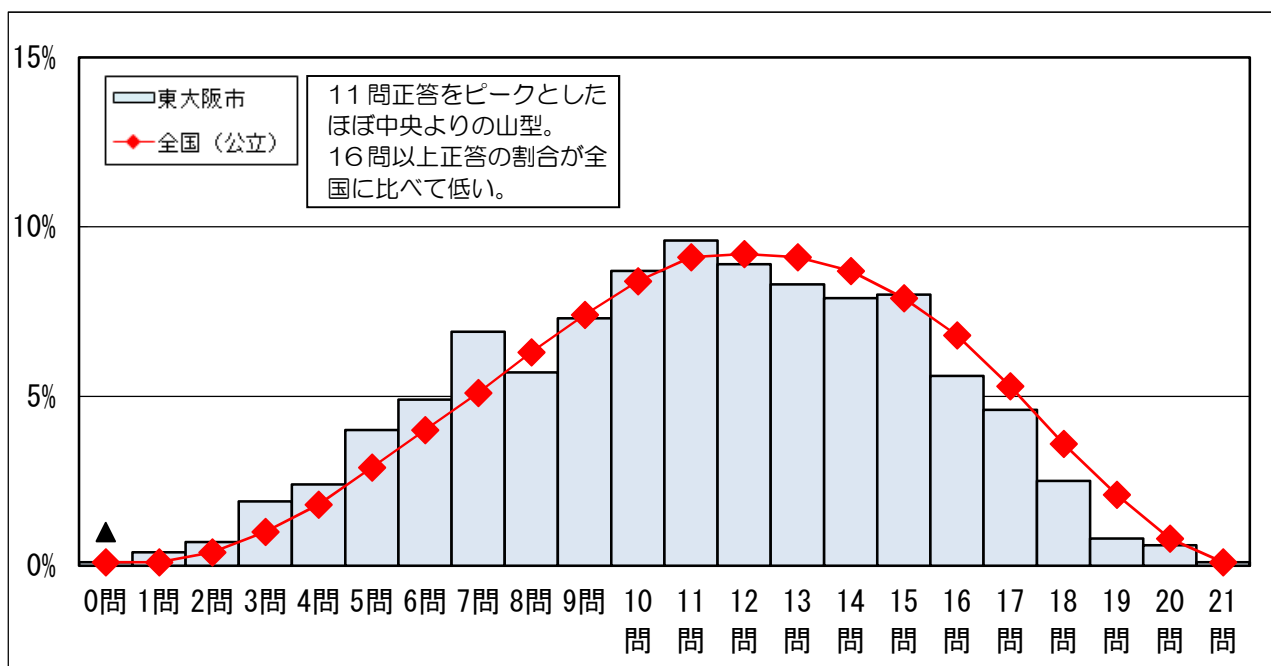
【無 答 率】 7.2 %

学習指導要領の領域別・評価の観点別・問題形式別の平均正答率



○ 学習指導要領の領域等では「書くこと」「読むこと」の項目においては、全国の値と比較して課題が見られるが、「書くこと」の項目においては、全国の値とやや近い値となっている。

正答数分布

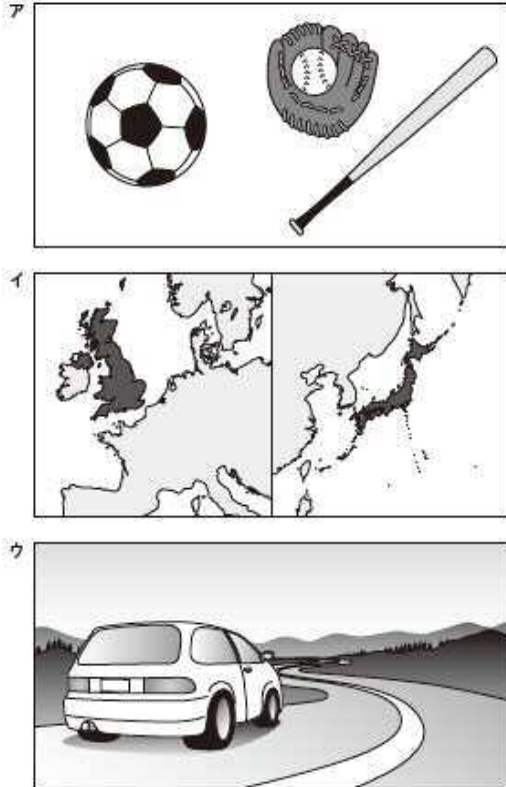


調査問題でみられた特徴的な傾向と対策

《全国との正答率の開きが大きい問題》 2 、 7

2 (放送問題)

英語の授業で、ある生徒が2つの国について調べたことを、次の3枚の絵を見せながら発表します。生徒はア、イ、ウをどのような順番で見せるでしょうか。正しい順番になるように、1つずつ絵を選びなさい。



スクリプト

2 英語の授業で、ある生徒が2つの国について調べたことを、次の3枚の絵を見せながら発表します。生徒はア、イ、ウをどのような順番で見せるでしょうか。正しい順番になるように、1つずつ絵を選びなさい。解答時間は20秒です。それでは始めます。

What countries are these? Yes, they are the U.K. and Japan. Both countries are the same in some ways. They are island countries, and cars run on the left. The two countries are different in some ways, too. In Japan, baseball is popular, but in the U.K., it isn't. Football is more popular than baseball. I think knowing about the life and culture of other countries is interesting. I want to learn more about them in the future.

【出題の趣旨】

まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができるかどうかをみる。

【正答】

イ→ウ→ア

【正答率】

東大阪市 66.1%

全国（公立） 71.8%

【学習指導のポイント】

まとまりのある英語を聞いて話の概要を捉えるためには、話の特定の部分にとらわれることなく、全体像をつかみ取るような聞き取りをする必要がある。場面設定を工夫しながら、聞いた後におおまかな内容を話して説明するなど、何のために聞くのか目的をはっきりとさせた上で、聞き取りのためのポイントを示したり、聞き取りのポイント自体を生徒自身に考えさせたりすることが大切である。

具体的な指導としては、以下のような活動が考えられる。

- 話の展開を捉えるキーワード（比較・対照を表す語など）に着目して聞く活動
- 5W1Hに着目して聞く活動
- 話の展開を時間軸に沿って整理する活動
- 話の展開を簡単なイラストで表現する活動
- 話の内容を示す絵を、展開に沿って並べ替える活動

- 7 中学生の一郎は、スミス先生（Ms. Smith）と話しています。次の会話文中の（ ）内に入る最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Ms. Smith: Ichiro, why don't you read this article? It's interesting.

Ichiro: Oh, thank you, but it's all in English. That's difficult for me.

Ms. Smith: This newspaper is for students. Try reading it!

Ichiro: OK.

[Ichiro reads the article.]

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways.

Few animals can understand *janken*. In *janken*, none is the strongest among *rock*, *scissors*, and *paper*. Learning about the relation among the three is very difficult.

The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.

The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

[A few minutes later]

Ms. Smith: What is the most important point in this article?

Ichiro: ().

Ms. Smith: Right. That is the main point.

(注) article: 記事 chimpanzee: チンパンジー four-year-old: 4歳の
few: ほとんどない none is ~: いずれも～ない among ~: ~の中で
rock, scissors, and paper: グー, チョキ, パー (じゃんけんの指の出し方)
relation: 関係 human: 人間の study: 研究

- 1 Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children
- 2 Few animals can understand *janken*
- 3 The team showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees
- 4 The team found that children could learn *janken* when they were about four years old

【出題の趣旨】

まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができるかどうかをみる。

【正答】

1

【正答率】

東大阪市 28.4%

全国（公立） 32.8%

【学習指導のポイント】

説明文などの大切な部分を捉える際には、文章全体を通して読み、複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何であるか等を判断することが大切である。指導に当たっては、文章全体を漫然と読ませるのではなく、繰り返し用いられている語（句）や問いかけなどの手がかりを基にして、最も大切な語句や文を選ばせたり、各段落の働きを理解させたりすることが重要である。

具体的な指導としては、教科書や他の教材を用いた、以下のような手順の言語活動が考えられる。

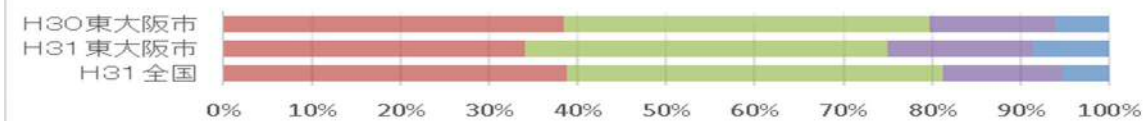
- ① 全体のおおまかな内容を捉える。
- ② 各段落の最も大切な内容を表す英文を選ぶ。
- ③ それらを比較するなどして、文章の最も大切な部分について意見交換をする。

このような活動を行う際には、日常的な話題にとどまらず、社会的な話題（自然環境問題や平和問題など）についての題材も扱うことが大切である。

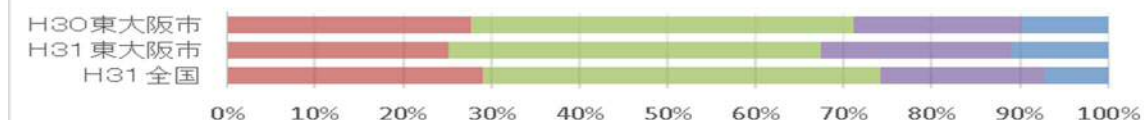
児童生徒質問紙調査より①＜規範意識・自己有用感に関すること＞

①自分には、よいところがあると思う。

小学校



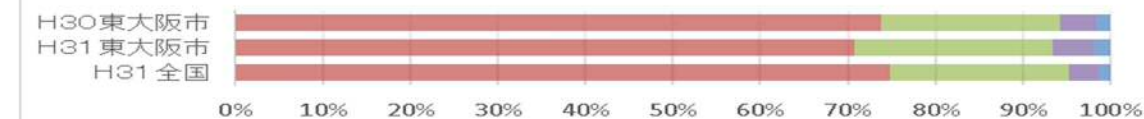
中学校



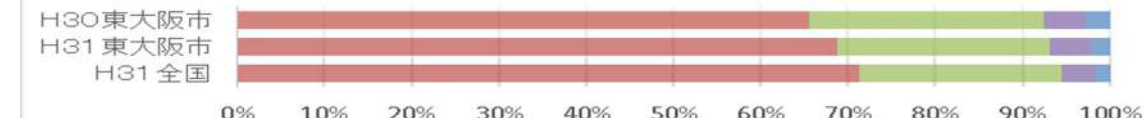
■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる
■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない

②人の役に立つ人間になりたいと思う。

小学校



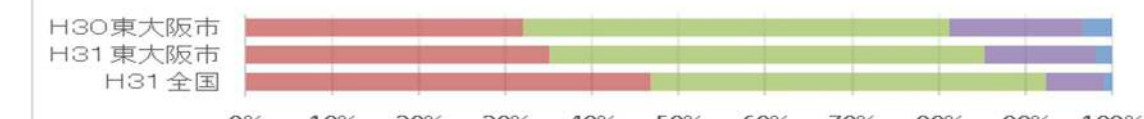
中学校



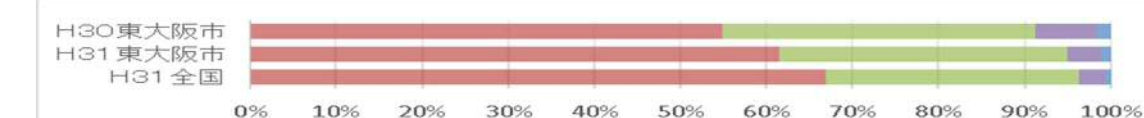
■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる
■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない

③学校のきまり（規則）を守っている。

小学校



中学校

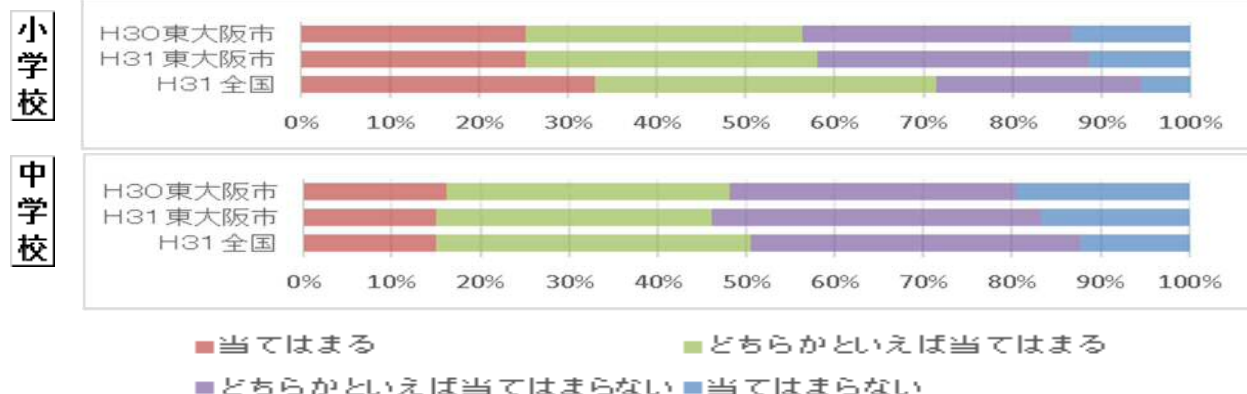


■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる
■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない

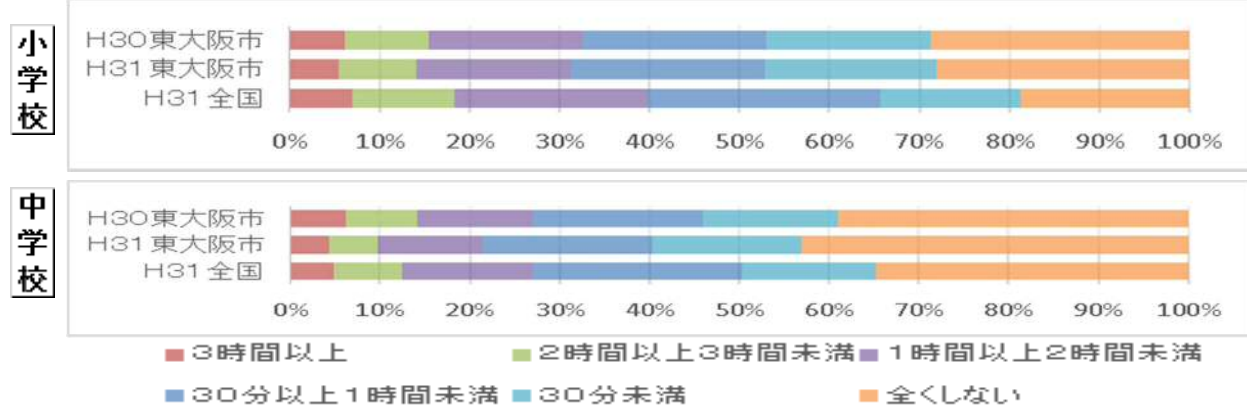
- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」と肯定的に答えた中学校の割合が昨年度より向上した。小中学校ともに、子ども達が集団の中で感謝されたり、認められたりする機会を通して自己有用感を高められるよう、今後も互いを高める集団づくりが大切である。(①②)
- 「学校のきまり（規則）を守っている」と肯定的に答えた割合は、小中学校とも向上した。今後も中学校区として、連続的に子どもを見守り導くことが大切である。(③)

児童生徒質問紙調査より②＜家庭学習習慣に関すること＞

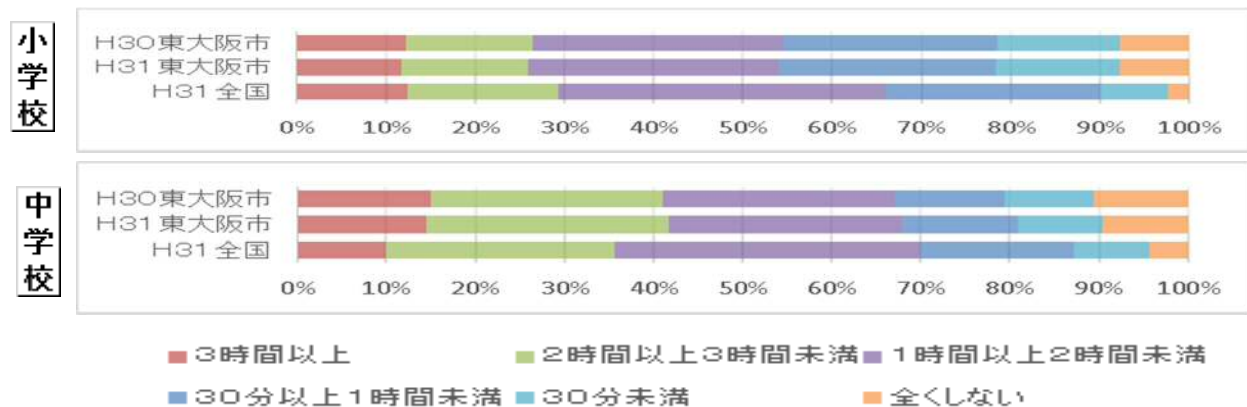
①家で、自分で計画を立てて学習している。



②学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、読書を行いますか。



③学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強を行いますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます。）

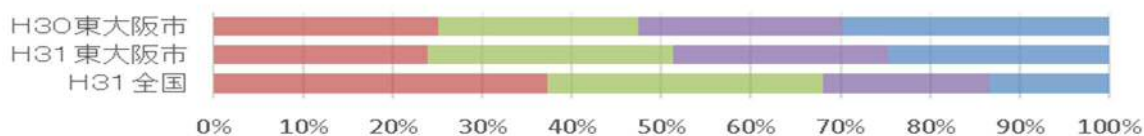


○家庭学習を2時間以上している小学生の割合はやや減少し、全国と比べても開きがある。一方で、家庭学習を2時間以上する中学生の割合は昨年度より向上し、全国に比べても高い。この成果をさらに広めるため、「家庭学習の手引き」の効果的な活用、宿題の提示の仕方や内容の工夫などを中学校区で考えていきたい。子ども達が自分自身で課題を見つけて取り組む習慣を、発達段階に応じて身につけていくことが必要である。（①～③）

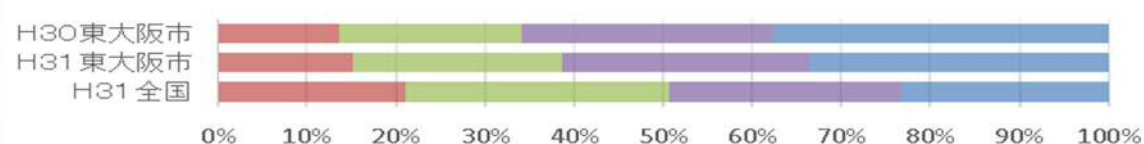
児童生徒質問紙調査より③＜地域や社会に関わる活動に関すること＞

①今住んでいる地域の行事に参加している。

小学校



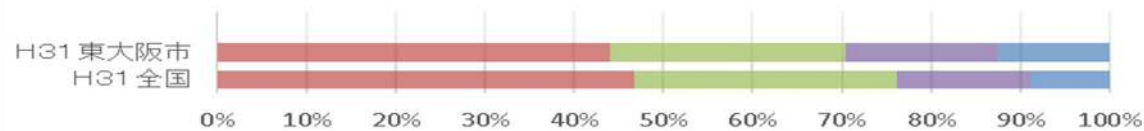
中学校



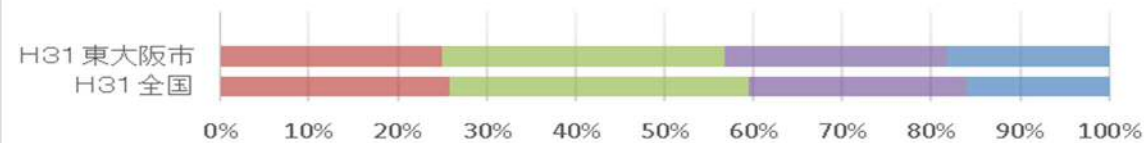
■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる
■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

②日本や地域を外国の人に知ってもらいたい。

小学校



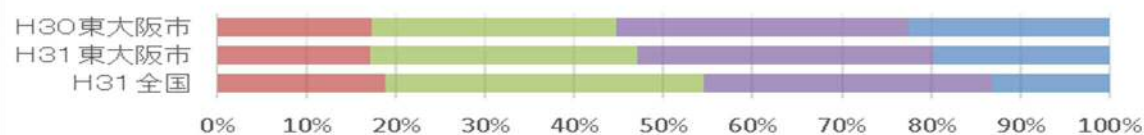
中学校



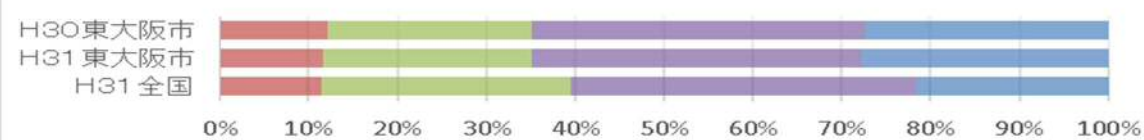
■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる
■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

③地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。

小学校



中学校



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる
■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

○「今住んでいる地域の行事に参加している」と肯定的に答えた児童生徒の割合は全国と開きがあるが、昨年度よりも向上した。「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」と答えた児童の割合も昨年度に比べ増えている。日本や自分の住んでいる地域（ローカル）を大切にしながら、グローバルな視野をもった学びができるように、今後も、地域・保護者・中学校区が協働し、グローバルな子どもたちを育成することが大切である。（①～③）